



報 会
 日本郵趣協会
 北九州支部
 平成30年 10月13日
 第 343 号

新 昭 和

第 一 次

1 円 5 0 銭 錦 帯 橋

1946.11.20 発行

印刷局銘 I 版

「印」に
セリフ有り

EP

白紙

II 版セリフなし

EP

I 版

II 版

灰白紙

I 版

II 版

日本国銘

灰白紙・狭透し

I 版

II 版

提供：橋本 たねひろ 氏

第一次新昭和切手 1 円 5 0 銭の収集

橋本たねひろ

1 円 5 0 銭「錦帯橋」切手は、書留小包用として昭和 21 年 11 月 20 日発行され、さくらカタログでは昭和透かしと狭透かしの 2 種に分類されているが、昭和透かしには白紙と灰白紙があるので、単片収集では 3 種となる。

表紙のとおり、銘版に日本国銘と印刷局銘の 2 種があり、日本国銘は、灰白紙のみであり、印刷局銘は白紙、灰白紙昭和透かし、灰白紙狭透かしとすべての紙質が存在する。

さらに印刷局銘には、すべての紙質に銘版の「印」第 6 画にセリフがあるか否かで I 版と II 版があるので、銘版収集ではこの 6 種と日本国銘 1 種合計 7 種を目標にすることになる。

特に高価なものはないが、この 7 種を揃えるにはかなり根気を必要とする。刷色に多少の変化があるが当初は考える必要がないと思う。

それよりは、むしろ定常変種が面白いので、こちらの入手に努力したい。

使用済みを単片では、昭和 22 年 4 月 1 日料金改正後に 5 0 銭はがきに加貼したものが格段に多いため、これからはがしたものがほとんどであるが、読める消印を探すとかなり大変である。

料金別納ブロックや後期の混貼りからはがしたものなどで我慢することも必要であり、エンタイアも 5 0 銭はがき加貼や後期の混貼以外の入手は運しかないと思う。